



セキュリティ監査の強化で日本版SOX法対応へ 「Quest Reporter」活用でレポート作成作業を大幅に効率化

家庭日用品や化粧品等のダイレクト・セリングで知られる日本アムウェイでは、クエスト・ソフトウェアのWindowsシステムレポートツール「Quest Reporter」を導入して、ネットワーク上のユーザ、グループやファイルのアクセス権限などの情報収集・レポート作成作業を効率化・リアルタイム化した。これにより、セキュリティ監査のさらなる強化に向けた体制を確立している。

【課題】

ユーザ、アクセス許可等の レポート作成作業の負荷軽減が急務に

ダイレクト・セリング・システムのリーディングカンパニー、日本アムウェイでは、Windows、Linux、UNIXなどのサーバ約300台とクライアント約1300台から構成される大規模な社内ネットワークを構築、運用している。また、2004年末にはActive Directoryを導入して、ネットワーク上のリソース情報やユーザ情報などを一元管理する環境を実現した。

一方、同社では情報セキュリティ監査の体制強化を推し進めており、それぞれ独自にファイルサーバを活用している各部署から、システム運用管理を担当する情報サービス本部に対して、アクセス許可の状況などをチェックするためのレポート作成を依頼される頻度が急増した。しかし、レポート作成のための一連の作業は繁雑で手間も時間もかかった。



日本アムウェイ株式会社
情報サービス本部 技術支援部
サービスデスク グループ

遠竹 靖宏氏

同社情報サービス本部では、通常業務に支障を来さないように、夜間、バッチ処理でユーザ情報やファイルのアクセス許可情報などを収集し、それをCSV形式で書き出してから、必要な情報をExcelで整理して提供していた。このため、要請があってからレポートを提供するまで、夜を徹した作業も含めて最短でも一日半はかかっていた。同社情報サービス本部 技術支援部 サービスデスク グループの小出陽子氏は、「監査の準備など

のために各部署からレポートの要請が増える中で、レポート作成作業の効率化・迅速化は大きな課題になっていました」と語る。

【ソリューション】

レポート作成をスピーディかつ効率的に実現する 「Reporter」を導入

同社がレポート作成の負荷を軽減する手段を探していたとき、他社から紹介されたのがクエスト・ソフトウェアの「Reporter」だ。この「Reporter」は、Active Directoryによるネットワーク管理の環境下で、効率的にユーザやグループ、コンピュータ、ファイルのアクセス許可などの必要な情報を収集するとともに、多様な形式のレポート作成を支援するツールだ。同社では早速、クエスト・ソフトウェアに直接電話して説明に来てもらい、話を聞いてすぐにテストしてみることにした。



日本アムウェイ株式会社
情報サービス本部 技術支援部
サービスデスク グループ

小出 陽子氏

実際に「Reporter」を利用してみると、その効果は予想以上のものだったと、情報サービス本部でサーバ運用管理を担当する遠竹靖宏氏は語っている。「ほぼリアルタイムで情報収集しレポートを作成でき、その速さと使い勝手の良さには本当に驚きました」（遠竹氏）。「Reporter」はテキスト情報を収集するので、ネットワークに負荷がかからない。業務への影響はないので、業務時間内でもすばやく情報を収集することができる。

また、導入のしやすさも「Reporter」の大きな特長だ。対象と

□ユーザ企業プロフィール

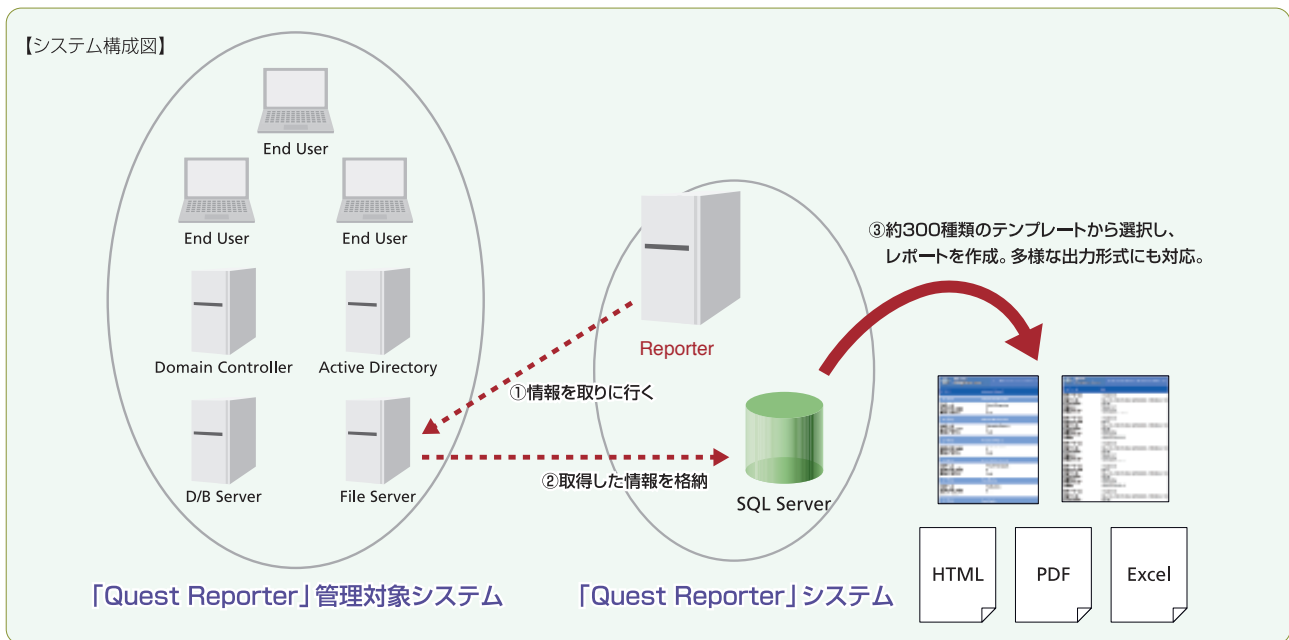
日本アムウェイ株式会社

東京都渋谷区宇田川町7-1
代表取締役社長:デヴィッド・D・アサラー
URL:<http://www.amway.co.jp>



栄養補給食品、化粧品、キッチンウェア等の製品を開発・製造し、ダイレクト・セリング・システムで販売。全国8ヶ所にショールーム「アムウェイ・プラザ」を展開している。CSR活動に積極的な企業としても知られ、世界57の国と地域にあるアムウェイが共通で取り組む社会貢献プログラム「One by Oneこども基金」を設立。「スペシャルオリンピックス日本」の支援や、障害があるこども達に森林体験を提供する「アフアン」心の森プロジェクトを実施している。また適正な個人情報保護により、2006年5月にはプライバシーマーク認定を取得している。





なるシステムにエージェントを導入する必要がない。「Reporter」とデータ蓄積用のSQLサーバをワンセットにしてネットワーク上に配置するだけですむ。導入の手間が要らないという点も採用のポイントになったという。遠竹氏は、「『Reporter』のようなレポート作業を効率化するツールは他にないと思いました。そこで、すぐに導入することを決めたのです」と語る。

【効果】

夜間作業を含め一日半がかりの レポート作業が数分で可能に

「Reporter」の導入効果は即座に現れた。これまで夜間の情報収集作業を含めて最短で一日半を要していたレポート作業が、日中の業務時間内にほんの数分で完了し各部署に提供できるようになったのだ。これにより作業負荷は劇的に削減され、その手間や時間を他の運用管理業務に当てることが可能になっている。

「Reporter」には、ファイルのアクセス権限やサービスパックの適用などレポート作成のためのテンプレートが300種類以上用意されており、これを利用することで誰にでも簡単にレポート作成ができる。同社ではこれを利用するほか、各部門のニーズに応じてカスタムレポートも作成しているという。また、「Reporter」

のスケジューリング機能を使って、ユーザ情報やアクセス許可などのレポートを自動的に実行している。

「各部署に提供しているファイルサーバの活用は活発で、ディスク容量の拡張が追いつかないほどです」（小出氏）という。一方で、ユーザやファイルのアクセス許可は複雑化しており、管理ポリシー適用の現状把握や迅速なセキュリティ違反のチェックが不可欠になっている。セキュリティ監査に対応するため各部署からのレポート作成の要請は今後さらに増える予想される。そうした意味でも、「『Reporter』を導入してレポート作業を効率化できたことは、サーバ運用管理業務の負荷軽減に止まらず、セキュリティ監査体制の強化に直接つながったと言えます」と、小出氏は強調している。

Quest Reporter

Windows Server環境下において、ユーザ、グループ、コンピュータ、ファイルのアクセス許可など、必要な情報を即座に収集、300種類以上のテンプレートを使用してレポートを簡単に作成することができる。業務ニーズに合わせたテンプレートのカスタマイズも可能で、多様な出力形式に対応。インフラのリソースをリアルタイムで把握でき、運用管理を効率的かつセキュアに行うことができる。



お問い合わせ

クエスト・ソフトウェア株式会社

〒163-0806 新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル6階
TEL:03-5321-6171 FAX:03-5321-6183
URL:<http://japan.quest.com/>

【設立】2003年5月

【本社】米国

【事業内容】総合的なデータベースおよびアプリケーション管理ツールの開発・製造・販売・サポート、およびコンサルティング

【事務所数】世界18ヶ国 40ヶ所

グループ全体のクライアント数は1万8000社を超え、マイクロソフト社のグローバルパートナー企業No.1の実績で、世界中のユーザから高い評価と信頼を得ている。